

## Q and A

### Q1) 新型コロナウイルス感染症に関するいじめについての考え方（再演としての視点）

本人あるいは家族の感染や入院など、今回の災害の直接の影響下にある子どもは、メンタルヘルス上のリスクが高いと考えられます。また、休校などの社会的な状況の影響を受ける多くの子どもにも、様々な程度にストレスに関連した症状がみられるものと考えられます。例えば PTSD（Post Traumatic Stress Disorder :心的外傷後ストレス障害）の症状の一部、すなわち回避や再演などがみられることが予想されます。このような症状がみられる子どもの中には、PTSD の診断基準を満たし医療を必要とする子どもも一部存在する可能性があります。そのため、児童精神科医や心理士など子どものこころのケアに詳しい専門家のバックアップのもと、学校メンタルヘルスで対応することが望ましいと考えられます。

大規模災害を経験した子どもに、遊びの中で災害を再演することがよくみられます（例えば、津波ごっこ、地震ごっこなど）。ウイルス感染の再演も、大規模災害後の再演遊びの一種と考えられます。今回の災害の再演には、例えば、怪獣のおもちゃをコロナウイルスに見立ててやっつける、新型コロナに見立てた絵をかいて塗りつぶすなどが考えられます。

人をコロナウイルスに見立てての再演は、いじめにつながりますので、その点の認識を大人と子どもとで共有することは必要です。ただ、いじめる側にも、今回の災害に伴い、それなりの心理的負担があると考えられます。そのため、いじめる側を一方向的に注意・否定するよりは、いじめられる側といじめる側の双方に対して、感染への怖い気持ちに共感し、不安を解消するようなアプローチが必要になります。

子どもは、大人と比較して自分の気持ちを言語的に表現することが難しいと同時に、父母など周りの大人に心配をかけまいとして、自分の気持ちを言わないことがあります。再演は、感染を怖がる子どもの気持ちの表現としてとらえることも重要です。そのうえで、人をいじめない他の遊びに誘うとよいでしょう。

### Q2) パッケージをメーリングリストで共有してもよいか？

学校や地域で子どものメンタルヘルス支援の役立てるために御使用ください。どうぞご利用ください。今後も細かい修正点はあると思いますので、JaSCAP-C の URL も載せておいてもらったほうが良いと思います。

現時点での最新版は下記 URL からダウンロードください

<https://jascap.info/>

<https://jascap.info/2020/03/11/新型コロナウイルスに対する学校でのメンタルへ/>